

事務事業名		特定環境保全公共下水道施設管理事業		所属部	上下水道部	所属課	下水道課		
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈定住環境〉		所属G	整備維持グループ	課長名	須田 弘		
	施策名	〈11〉下水道の整備		担当者名	新田利治	電話番号	0854-42-3471 (内線) 4610		
	目的:対象	市民	意図	衛生的な生活環境の中で暮らすことができる。					
	基本事業名	(029)下水道施設の維持管理		予算科目	会計	款	大事業	大事業名	特定環境保全公共下水道施設管理事業
目的:対象	下水道整備済地区の人	意図	安心安全に下水道を利用できる。				中事業	中事業名	大東町地区特環施設管理事業 加茂町地区特環施設管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	維持管理業務委託 処理施設の電気料、水道料、電話料、保険料の支払い 処理施設の故障対応及び修繕

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動) 26年度計画(26年度に計画する主な活動) 処理場 2箇所、中継ポンプ 18箇所の電気、水道等維持管理費 同左				
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
ア	処理区数	箇所	2	2	2	2
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
	接続家庭 接続家庭の汚水排水 河川の水質	ア	処理人口	人	5,571	5,615	5,545	5,545
		イ	接続人口	人	3,802	4,196	4,204	4,304
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)		
汚水を浄化する。生活環境を改善する。	ア	BOD除去率	%	98.0	98.7	98.7	99.2	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)		② コストの推移		単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
需用費	14,589千円	事業費	国庫支出金	千円				
役務費	2,408千円		県支出金	千円				
委託料	27,195千円		地方債	千円				
			その他	千円	48,561	43,587	44,192	57,514
			一般財源	千円				
計	44,192千円		事業費計(A)	千円	48,561	43,587	44,192	57,514
(大東地区)	17,907千円)	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
(加茂地区)	26,285千円)		延べ業務時間	時間	104	104	104	
			人件費計(B)	千円	410	407	405	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	48,971	43,994	44,597	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
加茂地区については、経年により施設の老朽化がすすんできているので、H24年度において長寿命化対策を策定した。 大東地区については、施設整備とともに、今後接続率が上がってくる。	今後の維持管理費の縮減のため、平成24年度において長寿命化対策を策定し、25年度において国の承認を受け、長寿命化対策工事を進めている。	適切な維持管理

事務事業名	特定環境保全公共下水道施設管理事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	-------------------	-----	-------	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	現時点で放流水質基準を満たしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	汚水処理は継続的にしなければならないので、休・廃止できない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		類似事業はなく、統廃合・連携は不可能。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		施設の管理は現在のままでしかできないので、削減余地はない。
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		現在でも最低限の業務時間で業務を行っている。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		水道の使用量により料金を賦課しているため、公平である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		面的整備についてはほぼ完了したが、加茂地区については経年による機械の劣化が問題となっている。H25年度に長寿命化計画の国からの承認を得て、長寿命化対策工事を行った。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
適切な維持管理とライフサイクルコストの最小化の観点から、予防保全型の管理が必要となっている。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			